

權田保之助 ごんた ぼくのすけ 社會學者、ドイツ遊藝教育者。明治二十五年五月東京
生れ、昭和二十六年一月一日歿（八七一—九五二）。東京外國語學校獨逸
語科を卒業し、大正二年東京帝國大學文科大學經濟學科卒。獨逸協會中學
校及び東京帝大經濟學科講師のち、大正十年大京社會問題研究所所
員、その後埋等。昭和二十一年日本放送協會常務理事、また權田ドイ
ツ語學院を創設。

著書『口哨台甘題』（譯註、大正五年四月十二日有朋堂書店
『獨逸文學叢書』）、『美術と藝論』（大正十年一月二十日内田老鶴
圃）、『シゴウ・ハウヤイン宗教問答』（榎田氏藏共譯、大正十五年九月七日
同人社書店）、『基礎獨逸文法』（昭和八年四月十一日有朋堂書店）、
『權田』基礎獨逸語講話』（昭和十六年四月二十日栗田書店）、『國
民娛樂の問題』（昭和十六年七月十五日栗田書店）、『産業青年讀本』
（昭和十六年十一月十二日瀧町酒井書店）、『戰時國民文化講話會講
義要領』（他二名合著・社會教育局、昭和十七年二月二十日文部省）、
『戰時對策管理』（合著・大日本産業報國會編、昭和十八年二月十日
東洋堂）、『娛樂教育の研究』（昭和十八年九月五日山學館）、『決
戦下の社會講話』（他二名合著・大京社會問題研究所編、昭和十九
年四月二十日栗田書店）等。